

2020年9月9日

報道関係者各位

一般社団法人新生福島先端技術振興機構

代表理事 齋藤 雄一郎

=====

獣害対策用画像認識 AI システム搭載

イノシシ成獣のみ捕獲するワナと通信システムを実用化しました

=====

一般社団法人新生福島先端技術振興機構（本店所在地 福島県安達郡大玉村大山字東 78 代表理事 齋藤 雄一郎）は、獣害対策用画像認識 AI システムを搭載した成獣イノシシ用ワナを、郡山市様より受託しました。

「獣害対策用画像認識 AI 搭載ワナ連動通信システム」は次の通りとなります。

●商品

弊社では、平成29年から令和1年まで3年連続で、福島県のロボット関連産業基盤強化事業にて採択いただき、獣害対策用の画像認識 AI 開発を行って参りました。このたび、製品として実用化の運びとなりました。令和1年度に郡山市様、桑折町様とイノシシ捕獲用 AI 罠連動画像認識システムの実証試験を経て、今年度郡山市様と受託契約に至りました。（郡山市農林部 園芸畜産振興課様ご担当）

●特徴

1. 従来設置してあるイノシシ用箱罠に後付けでシステムを設置できます。
2. 24時間システムが監視をしてイノシシが罠に入ると AI 画像認識でイノシシを認識し AI が箱罠の扉を閉めます。その後システムから登録ユーザーへイノシシが入ったことをメール通報いたします。
3. イノシシ以外の動物（熊等）が入っても扉は締まりません。
4. 危険の低減、見回りの労力削減に役立ちます。
5. 成獣のイノシシと子供のイノシシを判別できます。成獣のみ、子供のみ、成獣と子供、複数頭の指定ができます。商用電源又はソーラー電源でシステムを運用します。

【お問い合わせ先】

一般社団法人新生福島先端技術振興機構 理事 木戸幸也

URL <https://www.sentangijyutu.org/>

メールアドレス kido@sentangijyutu.org

以上



写真1 : AI がイノシシを認識した様子



写真2 : AI 搭載カメラシステム



写真3 : システム連動トリガー